

営農ウィークリーNEWS

ジャンボタニシ被害を防ごう!



1980年代に食用目的で日本に導入されたスクミリンゴガイ(通称ジャンボタニシ)は野生化し、基本的に柔らかい葉を好んで食べ、移植直後のイネで食害による欠株の被害が発生します。

被害状況の特徴ですが、田植え後20日までのイネが柔らかい時期に集中しており、水温が高くなるほどに活動が活発になり被害が増加します。また深水になる田面の低い箇所やマクラ周辺に被害が目立ち、大型になるほど食害量は大きくなります。



食害による欠株



ジャンボタニシの成貝



産み付けられた卵

田植え後の被害を防ぐポイント!!!



★食べさせない★

- ◆水深の管理がとても大切です!ジャンボタニシは水中でないと摂食できません。また、水深が浅いと活動が制限されるため水深4cm以下の浅水管理を行ってください。近年増加しているゲリラ豪雨などによる急激な増水には特に注意が必要です。(5葉期以降は食害されにくいので、移植後3週間程度を目安に浅水管理を行ってください)
- ◆圃場内・水路にトラップを設置し貝を捕獲したり、濃いピンク色をした卵は水中に落とし、黒~白っぽい卵は木片などで押しつぶしてください。
- ◆一旦発生してしまうと、すべてを駆除することは非常に困難で、毎年被害が発生する可能性が高くなるので、農業による防除をおすすめします。

ジャンボタニシ防除 おすすめ薬剤紹介!

『スクミノン粒剤』



■適用害虫と使用方法(2021年12月8日現在)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタアルデヒドを含む農業の総使用回数
稲 れんこん	スクミリンゴガイ	1~4kg /10a	収穫 60日 前まで	2回以内	散布又は無人航空機による散布	2回以内
		4kg /10a	収穫 45日 前まで			

※農薬の使用前には、必ずラベル等で登録内容の確認を行ってください。



「京おくら」の生産者を
大募集
しています!
ぜひ、一緒に「京おくら」を盛り上げましょう!



京おくら 生育順調!

6月1日 普及センターと2022年産「京おくら」の圃場巡回を実施しました。
一部、病害虫の被害が確認されましたが、全体的に順調に生育していました!
早ければ6月下旬頃より出荷が開始されます!

TAC information

知っていますか?

「RACコード」



殺虫剤分類 28
ボトルに記載されたRACコード

RACコードは、製品ラベルや、チラシなどに表示されています。
※すべての農薬製品にRACコードが掲載されているわけではありません。

RACコードとは、世界的な農薬製造会社の国際団体が定めた農薬の分類コードの事で、同じ作用性の農薬グループを一つにまとめて、それぞれの農薬にコード番号を付けています。

殺虫剤は「IRAC」、殺菌剤は「FRAC」、除草剤は「HRAC」といいます。農薬による耐性・抵抗性は、同一農薬、同一系統の薬剤の連用がその発生要因であると考えられています。RACコードを参考にして、同じ系統の農薬の連用を避けてください。

※RACコードは、農薬工業会のHP等でも確認することができます。



みのり姫の

ふれあい

マルシェ



開催日時 6月16日(木)
10時30分～14時

JA京都中央管内の新鮮な農産物を販売します
売切れ次第終了となりますのでお早めにお越しください!!

開催場所は下記の通りです!!

スーパー
万代側



JA京都中央 神足支店 西側 駐車場

住所 〒617-0826 京都府長岡京市開田4-14-8

TEL 075-932-0003 (※事務局 本店経済部)

会場に、自転車駐輪スペースを設けております。
また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、
ご来店の際は、マスクを着用いただき、会場での検温と
アルコール消毒にご協力ください。

2022年度 マルシェ開催予定日

済 4月21日(木)	次回 7月21日(木)	10月 お休み	1月19日(木)
済 5月19日(木)	8月18日(木)	11月17日(木)	2月16日(木)
6月16日(木)	9月15日(木)	12月15日(木)	3月16日(木)

みのり姫のふれあいマルシェは、毎月第3木曜日に開催する予定です。ただし、台風や荒天などにより開催日や開催場所を変更する場合がございます。開催可否については、神足支店ATM横の案内板をご覧ください。

主催：JA京都中央 共催：JA京都中央 営農者会

【HP】 <http://kyo-ja.com/>